

【第五部】 特 別 対 談

- 東京大学大学院工学系研究科教授
羽藤 英二 氏
- 呉市長
新原 芳明

総合交通拠点の整備

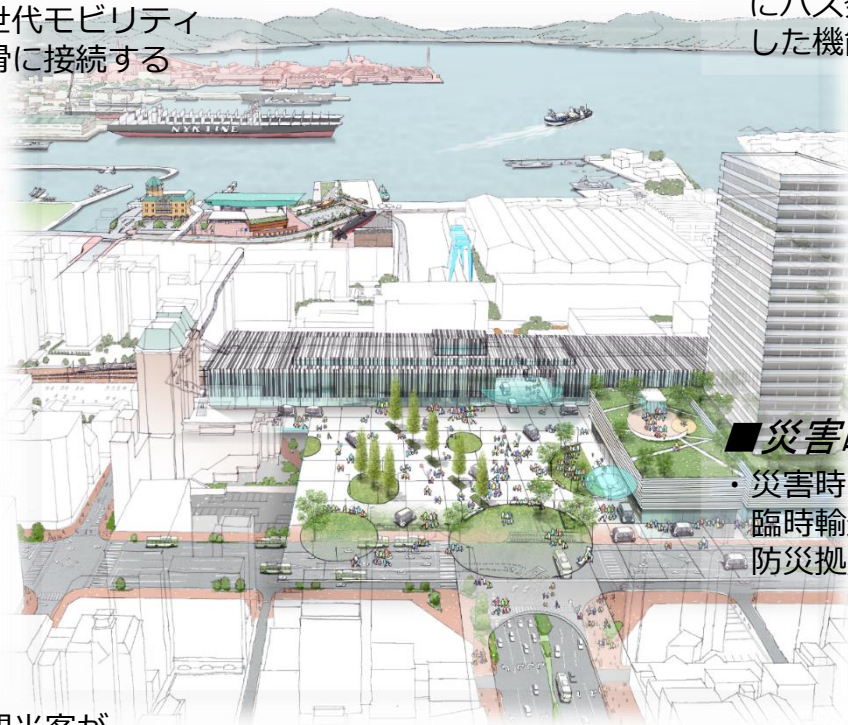
呉駅周辺地域総合開発

将来の交通まちづくりの核となる総合交通拠点を整備

(R2,3 基本計画策定予定)

■複数の交通モードが結節する総合交通拠点

- ・ 駅、港、国道が近接した立地優位性を生かし、鉄道・船・バス・タクシー・一般車、更には、将来の交通体系の軸となる次世代モビリティを含む複数の交通モードを円滑に接続する総合交通拠点として整備



■機能的なバスターミナル

- ・ 立体道路制度を活用し、複合施設1階にバス発着場を、2階に待合所を配置した機能的なバスターミナルの整備



■災害時の地域防災拠点

- ・ 災害時には、駅利用者等の一時避難場所、臨時輸送バスの発着点としても機能する防災拠点の整備



■ゆとりと賑わいの広場

- ・ 2層デッキを整備し、市民・観光客がゆったりと時間を過ごせる憩いの広場を整備
- ・ 広場空間のイベント活用により賑わいを創出

■スマートシティ実現に向けた拠点

- ・ 次世代モビリティやMa a Sなど新技術を先導的に導入。スマートシティの実現に向けた横展開の拠点として整備

豊かな歴史資源・観光資源を持つ地域拠点

旧呉鎮守府司令長官官舎



蘭島閣美術館前を進む
朝鮮通信使再現行列



吉浦八幡神社例大祭



御手洗伝統的建造物群保存地区



アレイからすこじま



ヤブ
(写真は貴船神社のヤブ)



昭和町れんが倉庫群



音戸かきまつり



安浦かきまつり



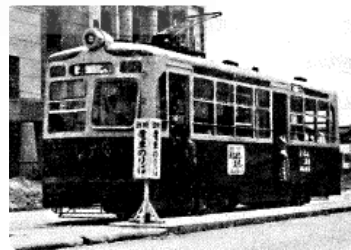
基幹交通を担うBRT (LRTの復刻)

基幹交通

「呉駅周辺地域」と「地域の中継点」をつなぐ基幹路線

■人口減少社会の中、市民の移動手段となるバス路線の維持が大きな課題

- ・人口減少によるバス利用者の減少、運転手の不足等により、路線の維持に多大な経費
- ・路線バスの効率的な運行が課題



当時の路面電車

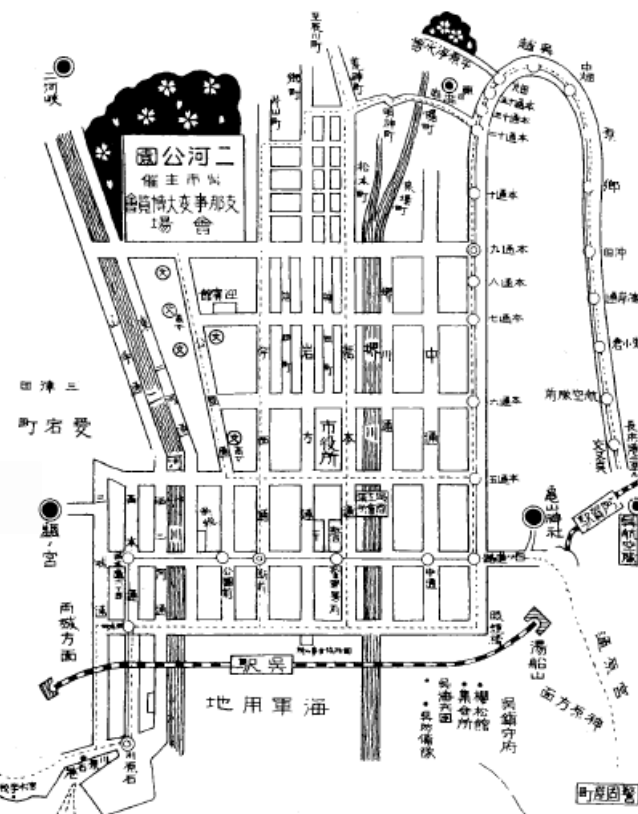


■行列走行が可能な「次世代BRT」で効率的な輸送を実現

- ・乗客が多い区間は、2台が連なる行列走行。2台目は無人運転で、効率的な輸送が可能
- ・鉄輪でなく、ゴム製タイヤなので、通常のアスファルト舗装の道路を走行
- ・経済成長期の呉市を支えた呉市電を次世代BRTで復刻



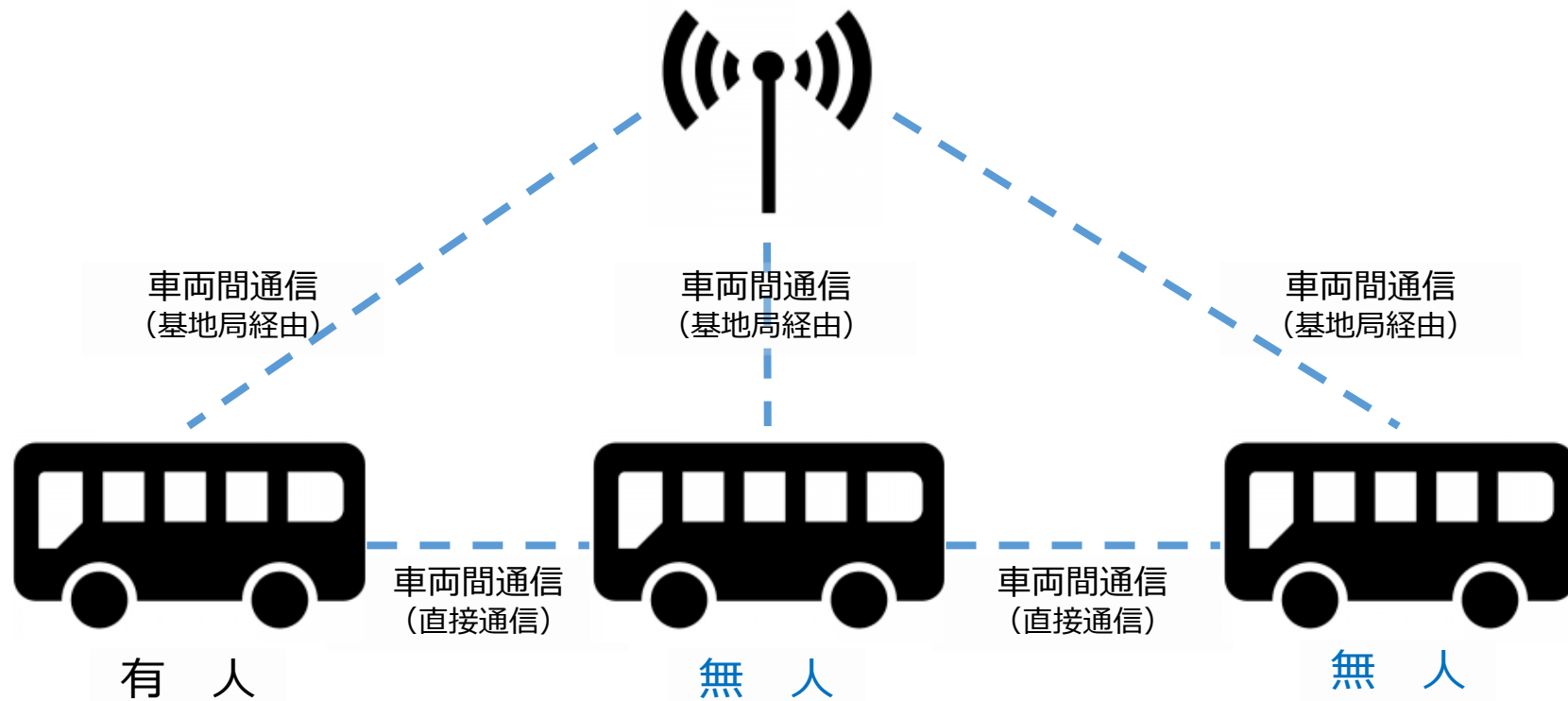
次世代BRT「SORA」



呉市電のルート図(S42廃止)

～ 隊列走行 ～

< 隊列走行のイメージ図 >



生活交通を支える新たな技術

端末交通

「地域の中継点」と「自宅」をつなぐ生活交通

■地形的な特性から、斜面市街地や島しょ部の生活交通の確保が課題

- ・ 道路が狭い斜面市街地
- ・ 沿岸部に集落が点在する島しょ部地域
- ・ 高齢化が進行する住宅団地 など

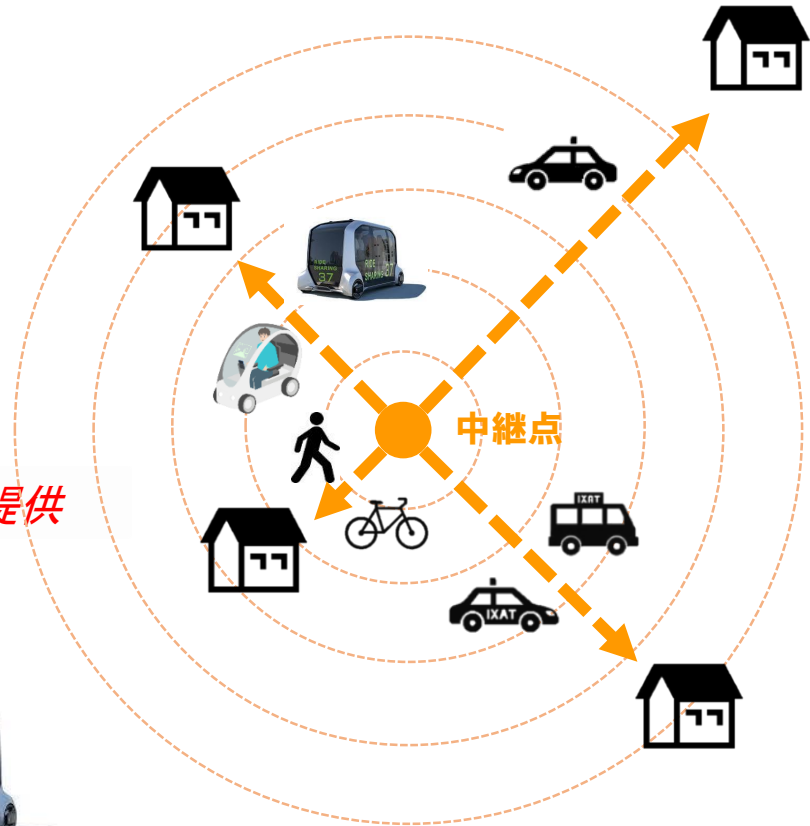


■ICT・AIなどの新技術を活用した多様な移動手段の提供

- ・ 地域の特性，利用ニーズに応じて移動手段を選択
 - ⇒ 次世代モビリティ（小型自動運転車等）
 - ⇒ デマンドタクシー
 - ⇒ ライドシェア・カーシェア
 - ⇒ パーソナルモビリティ
 - ⇒ 自転車・レンタサイクル
 - ⇒ 徒歩



次世代モビリティ「e-Palette」



～ デマンド・ライトシェア・カーシェア ～

第24回未来投資会議（H31.3.7）資料から抜粋

タクシーの相乗り導入

<課題>

- 利用しやすいタクシーの運賃・サービスの導入が必要。
- 空いた座席の活用やルート最適化などタクシー事業の生産性向上が必要。

<目指すべき姿>

- 配車アプリを活用し、相乗りによる割安な運賃やキャッシュレス化等により利用しやすい運賃・サービスを提供。
- 全国のタクシー事業者を対象とする。

<施策の方向性>

- 相乗りタクシーを実施する場合のルールを整備。



自家用有償旅客運送の実施の円滑化

<課題>

- 移動実態を踏まえたネットワーク形成が必要。
- 観光客への二次交通の対応も必要。



<目指すべき姿>

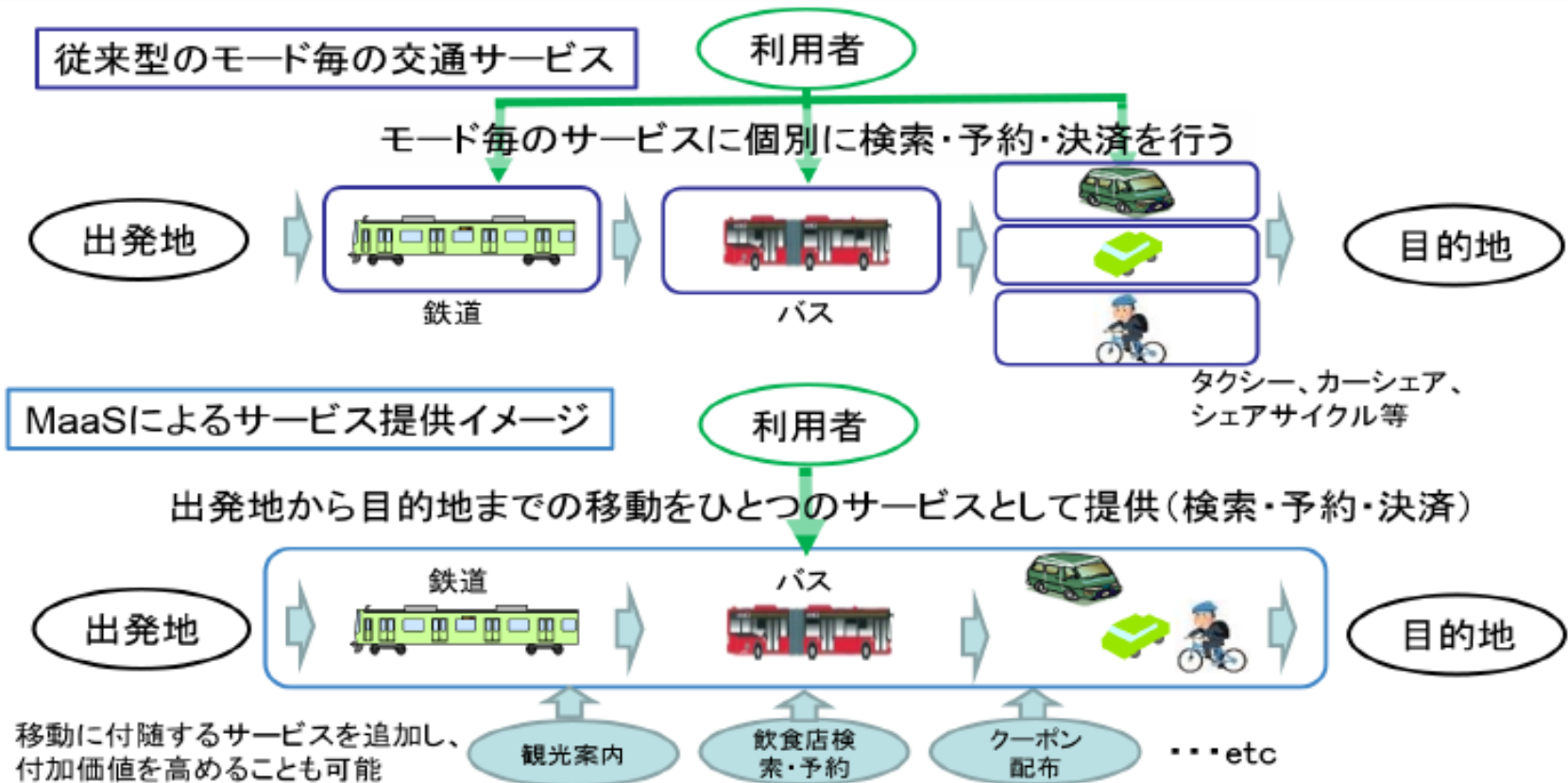
- 住民の生活交通＋観光客の二次交通に対応。
- 周辺自治体との連携。
- 自動車運送事業者のノウハウを活用し、より安全・安心な移動を提供。
- 円滑な合意形成。

<施策の方向性>

- 観光客も輸送対象として位置付け。
- 市町村の区域を越えた広域的な取組を促進する枠組みを構築。
- 自動車運送事業者のノウハウを活用しやすくするための仕組みを構築。

～ M a a S ～

国土交通省「公共交通政策の現状と課題」（H30.10.11）から抜粋



ひととまちに溶け込む新たな公共交通

